



## 1 市長あいさつ

- ・ 中期基本計画の策定ということで、大変お忙しい中お集まりくださいます感謝申し上げます。
- ・ 中期基本計画は、職員が原案を作成していく。基本的な考え方については、後程説明する資料4の「中期基本計画策定基本方針」のとおりだが、前期基本計画から見えてきた課題について、高浜市の未来を創る市民会議や総合計画推進会議の皆さまから出されたご意見から抽出させていただき、資料5の「施策課題カルテ」にその要素が詰まっている。中期基本計画は、こうした前期基本計画のまとめを受けて、今後の4年間の中で目標とするところを目指して、具体的な施策を積み重ねていく。
- ・ 外部からは、高浜市民の皆さまの意識は非常に高いという評価をいただいている。皆さまのご意見をいただきながら策定を進めてまいりたいので、よろしくお願ひしたい。

## 2. 辞令交付

- ・ 市長より各委員へ辞令交付

## 3. 委員紹介

- ・ 資料1の配布をもって委員紹介に代えた。

## 4 議題

### 1) 会長及び副会長の選出について

委員の互選により、以下のとおり決定した。

会 長：中川幾郎委員

副会長：中川勝利委員

#### 【中川幾郎会長あいさつ】

- ・ 高浜市の総合計画は、大変ユニークで素晴らしい特徴がある。それは「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」というキャッチコピーそのものである。市民手づくりでここまでやれるというエネルギーを、さらに広げていきたい。

#### 【中川勝利副会長あいさつ】

- ・ 前期基本計画を推進する立場から、これまで3年間関わってきた。一生懸命取り組むので、皆様のご協力をよろしくお願ひしたい。

### 2) 諮問

市長から中川会長に諮問がなされた。

### 3) 専門部会の設置について

委員の互選により、以下のとおり決定した。

福祉環境部会 → 部会長：酒井康満委員、 副部会長：阿知波勝義委員

都市基盤部会 → 部会長：岩月義成委員、 副部会長：井野代司彦委員

総務教育部会 → 部会長：高桑雄司委員、 副部会長：竹内一仁委員

#### 4) 会議及び会議録の公開について

事務局より、資料3「高浜市総合計画審議会 会議及び会議録の公開について（案）」を説明

—原案どおり承認される—

#### 5) 中期基本計画策定基本方針について

事務局より、資料4「中期基本計画策定基本方針」を説明

—質疑なし—

(報告事項として取り扱い)

#### 6) 前期基本計画「施策課題カルテ」について

「中期基本計画策定プロジェクト」各ワーキングチームのリーダーより、資料5について説明

- 会長： ・一通り説明を聞いただけではわからない部分もあるかと思うので、お帰りになってから、再度目を通していただき、後日、個々の所管グループないしは事務局にお尋ねいただきたい。
- ・委員の皆さまから、ただ今のご説明を聞いての質問あるいは感想をご発言いただきたい。
- 副会長： ・目標1と目標3について、実際に推進してきた立場でもあるので、およそここに書いてある通りであるという印象である。もう一度じっくり読んで、改善点について考えていきたい。
- 委員： ・今まで市民会議で地域福祉分科会に関わってきたが、「ポッチャ」を多くの皆さんに紹介し、広めていきたいと考えている。
- ・他の事項については、もう一度じっくりと「施策課題カルテ」を読んで、次回に意見を述べていきたい。
- 委員： ・市民会議では、防犯・防災分科会に携わっている。高浜市で今一番心配であり、重要なのは防災である。中でも、災害要援護者対策が急務であるが、市民の皆さんの協力が必要不可欠である。「自分の安全・安心は自分で守る、地域の安全・安心は地域で守る」という考え方が大切である。その考え方に基づいて、一生懸命頑張っていきたい。
- 委員： ・商工会という立場で、目標7・目標8の産業・観光関係に携わっている。高浜市の名物として「とりめし」や「タカハマ物語」が全国的にも知られつつある。それに見合うような行政の体制、まちや商工業者の体制づくりが必要であると思っている。
- 委員： ・プロジェクトチームからの説明を伺っていると、市全体を俯瞰する視点と、個々の事項を細かに見ていく視点の両方をバランス良くとっていくことがとても重要であると感じた。
- 委員： ・説明を聞いて、思いが入っているものの、実際に何をやりたいかという点が欠けている面もあるような気がする。いずれにしても、職員の皆さんも熱心に取り組んでおられるので、私たちも一生懸命審議していかななくてはならないと感じた。

- 委員：・審議会の出席にあたっては、しっかり予習と復習を行い、良い意見を発言できるようにしていきたい。
- 委員：・まちの現場で、子どもたちと一緒に様々な体験活動を行っているが、地域の若い世代にも知ってもらい、地域で盛り上げていきたい。一つでも多くのことを提案できるように、皆さんと一緒に取り組んでいきたい。
- 委員：・「施策課題カルテ」をわかりやすく、しっかりと取りまとめていただいた。
- 委員：・ただ一つ気になることは、資料4で示されているワーキングチームだが、「高浜市の未来を創る市民会議」では、「学校教育」と「生涯学習」がそれぞれ別の分科会に分かれていたのだが、今回のプロジェクトでは、一つのワーキングチームになっている。これは多分、似通ったテーマなので一つのチームで行った方がよいという判断をされたのだと思うが、単にチームが一緒になったということだけではなく、検討する中身についても、チーム内で連携していくことが重要である。例えば、目標6のカルテの11ページ「放課後居場所事業」は、生涯学習分野の「まちの達人」と関係があるので、子育て・子育てチームは、生涯学習チームと十分に連携していただきたい。
- 委員：・次回、中期基本計画のフォーマット案を出される時に、できれば、各チーム間で関連するテーマをマトリックスのようなものに整理した上で資料を出していただけると、初めての委員の方々にとってもわかりやすいと思うので、是非ご検討いただきたい。
- 委員：・これまでに市民会議の全体会で様々な分科会の発表を聞いてきたが、本日の「施策課題カルテ」の説明を聞いて、話がつながり、こんな多くのことが行われていたということがわかった。高浜市を良くしていこうという皆さんの想いは共通している。「施策課題カルテ」をしっかりと読んで勉強したい。
- 委員：・「総合計画推進会議」と「高浜市の未来を創る市民会議」に参加させていただいているが、今回は、そのおさらいさせていただいたという感じで、とてもわかりやすく課題が整理されている。ワーキングチーム同士の連携を図ることが重要である。
- 委員：・中期基本計画の策定に際して、今年の2月に職員プロジェクトとして中期基本計画策定会議を発足し、幹部職員とワーキングチームのリーダーが集まり、既に4回の会議を実施してきた。「施策課題カルテ」は、その成果である。
- 委員：・基本目標ごとに配置しているマネージャーやサブマネージャーは、9人のチームリーダーに任せるだけでなく、チーム間の調整や各チームの打ち合わせにも積極的に関わるよう申し上げている。積極的に関わってこそ、良い計画に仕上がっていくものであると考えている。また「中期基本計画策定会議」においては、経営の視点から積極的に発言するよう要望している。
- 委員：・冒頭の市長のあいさつにもあったように、今回は、職員が主体となって計画の原案を作成し、行政のプロとしての手腕を十分に発揮してもらいたいと考えている。審議会委員の皆さんには、今後ご指導・ご鞭撻、叱咤激励をいただきたい。
- 会長：・総合計画に目標数値を入れるのは当時としては冒険であった。数値の選択は、行政の立場からは慎重にやらなくてはならないものだが、今回説明のあった「施策

課題カルテ」を見る限り、指標や目標数値の設定でどれも間違いがなかったと思っている。ただ、中期基本計画の策定にあたって、単純なアウトプット指標よりも、政策効果につながるような成果指標に変えるなど、必要に応じて指標や目標数値を変えていく必要がある。

- ・マイナスになっている指標の中には、設定が適当でなかったり、外部環境の激変があったかもしれない。そうしたものには、コメントを付記してもよい。例えば、商業出荷額、製造出荷額等などについては、外部要因が働いた影響もあるのではないか。
- ・子どもたちに関する成果が、やや弱いような感があるように思う。子どもたちに対する施策を充実する必要があるのではないかと感じた。

## 5. その他

第2回審議会：6月26日（水）午後7時～

